

鮮やかに描き遺された江戸初期の芸能

えどき ふうぞくずびょうぶろくきょくいつせき
江戸期の風俗図屏風六曲一隻



屏風全景



左側



中央



右側

江戸時代初期に行われていた若衆歌^{わかしゅうか}
舞伎^{ぶき}を描いた屏風です。当時の風俗のほか、
楽器の三味線^{しゃみせん}の形態を知るうえでも
貴重な資料です。

江戸時代後期の文化・文政期^{ぶんか ぶんせいき}（1804～
1830を中心とした時代^{もしや}）に模写された量
産品とみられます。

市指定文化財：有形文化財（絵画）

指定年月日：昭和51年2月17日

所在地：木更津市太田2-16-2

（木更津市郷土博物館金のすず）

所有者：木更津市

員数：1隻

公開・非公開の別：非公開
